

安全に関する改善事例

記入日: 17年 10月 10日

(所属会社)

(氏名)

(連絡先電話番号)

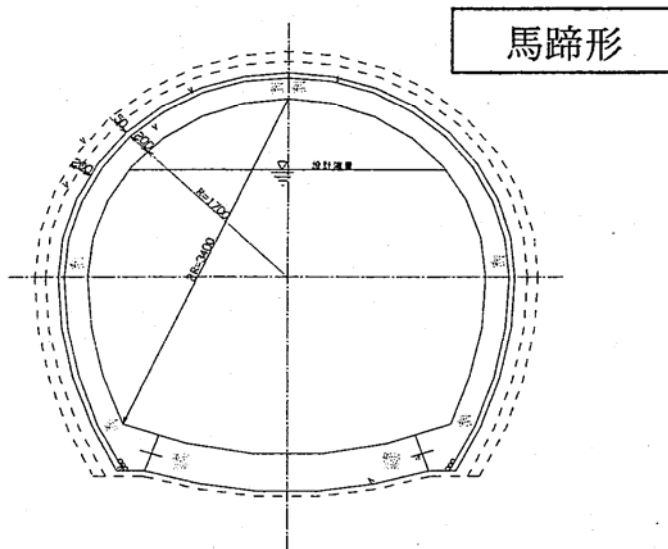
記入者: _____

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m ³)
福富ダム	広島県	広島県	G	58	292	210
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
設計	その他(転流工)	重機事故	人的・設備要因	はさまれ	①: 無	
改善の概要: 転流工仮排水路トンネルの断面変更 トンネル断面を当初設計の馬蹄形から幌形に変更し、安全通路として80cm以上確保し(当初30cm)、2ブームジャンボの横を作業員が通れるようにした。					特許の有無 有: ②	

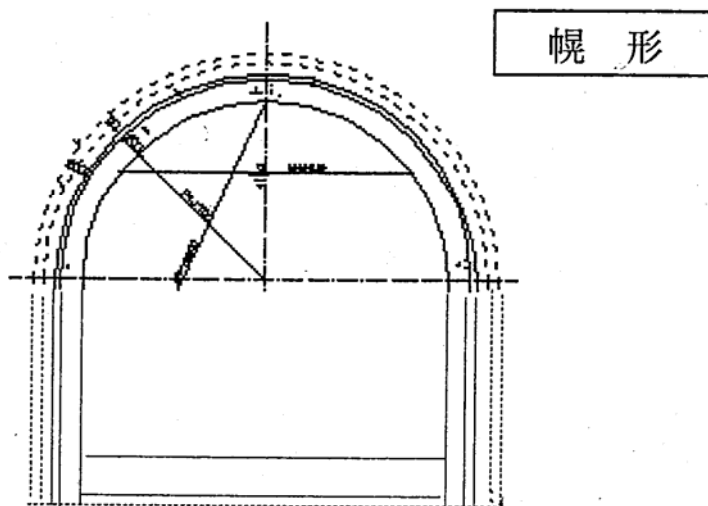
メリット:
 切羽のこそく・火薬の運搬・支保工の組立作業等の為に鋼製支保工と2ブームジャンボの狭い間を通り抜ける時に生じる恐れのある、はさまれ事故を回避し安全な作業が出来る。

デメリット:
 無し(強いて言えば断面検討書・施工数量比較表・ロックボルト配置図・支保工図等の設計変更数量の作業が生じる)

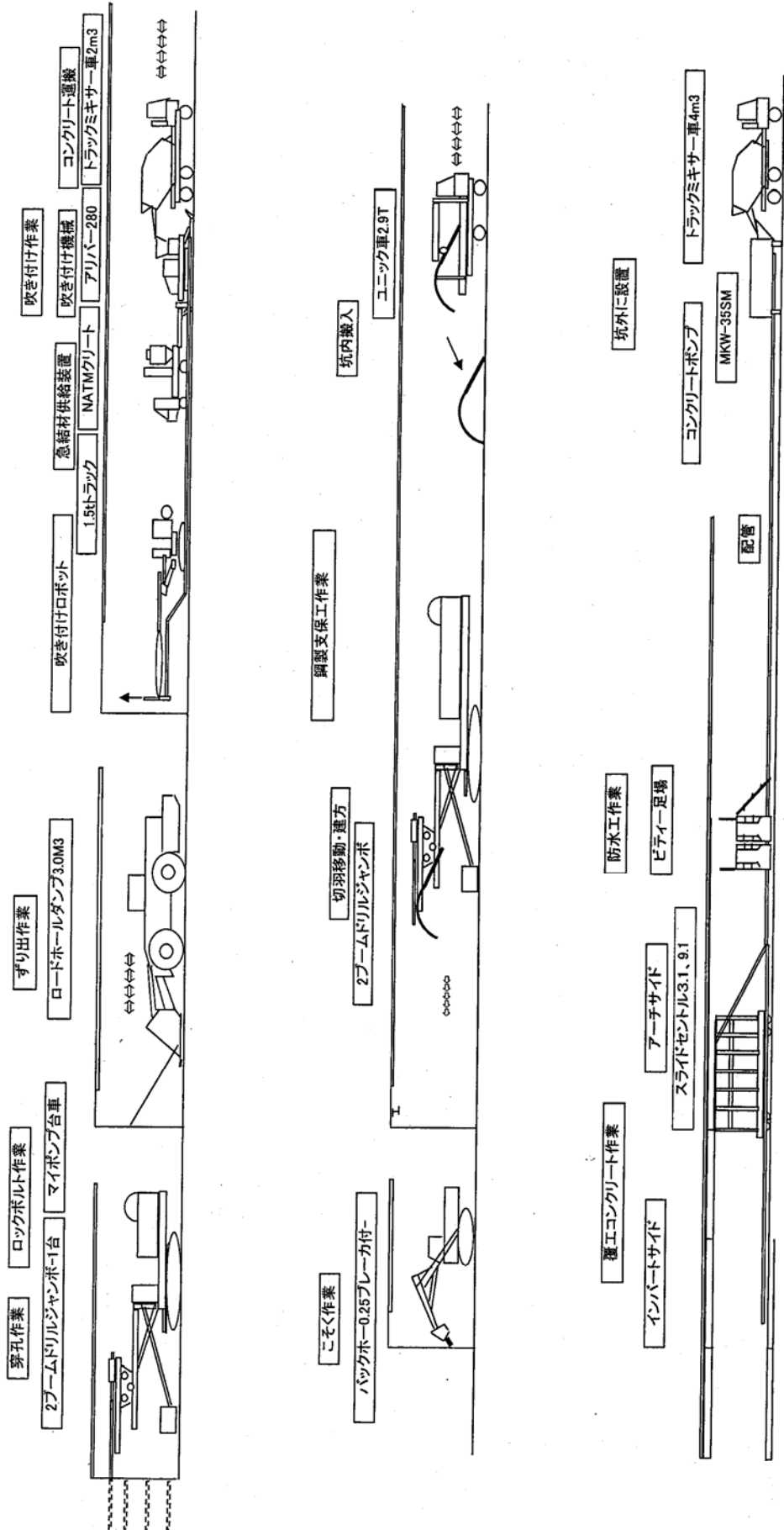
改善前 (略図または写真)



改善後 (略図または写真)

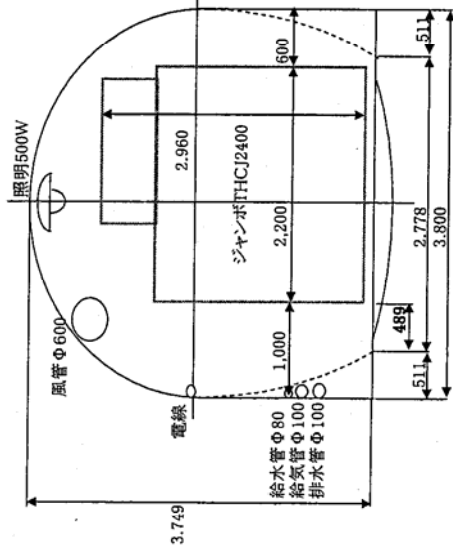


施工フロー図

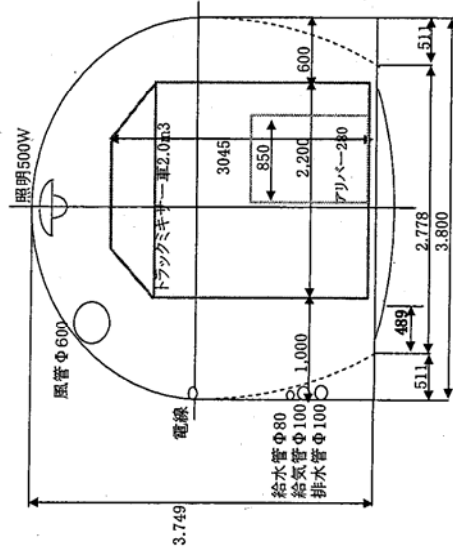


坑内仮設備計画図

トンネル内仮設備配置図(掘削時ジャンボ)



トンネル内仮設備配置図(吹付コンクリート運搬時)

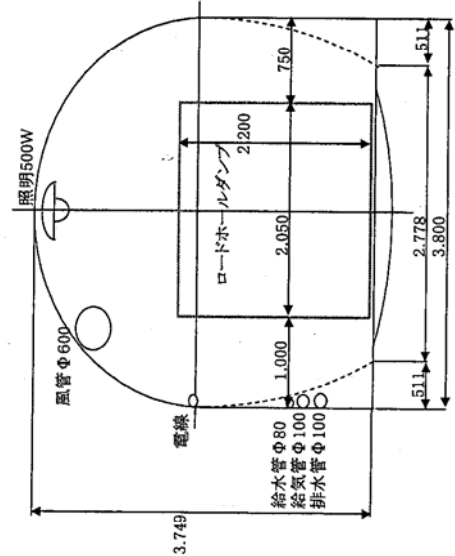


トンネル掘削の断面変更について

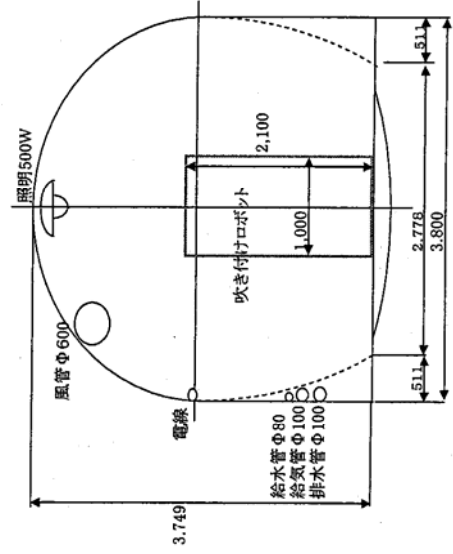
ジャンボ下半部では片側30cm程度しか余裕が無く、ロードホールドダンプの走行の余裕幅も片側30cm程度である。このため、

坑内仮設備の機械は左図に示す位置において、ジャンボ、ロードホールドダンプ、吹き付けロボット、ミキサー車等での作業を考慮すると下半部のR部を直線として通路幅を確保したい。

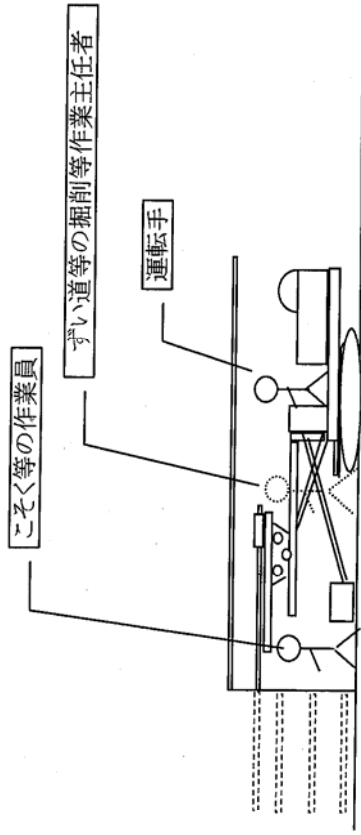
トンネル内仮設備配置図(スリ取り時ロードホール)



トンネル内仮設備配置図(吹付時)



2ブームドリルジャボ周囲の作業



- ずい等の掘削等作業主任者の直接指揮での作業(掘削中:削孔位置及びこそく等の指示)
↳ 労働安全衛生規則より
- こそく作業
- 削孔中に発生するくり粉の除去。
- 火薬の運搬及び装てん作業
- 支保工の組立て作業
- 機械の始業点検

労働安全衛生規則(383X-3条)より

作業主任者の選任が必要な作業	必要な主任者資格
ずい道等の掘削の作業・ずり積み・ずい道支保工の組立て ロックボルトの取付け・コンクリート等の吹付作業	ずい等の掘削等作業主任者